

先週のマーケット動向(12月19日～12月23日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,310.5	1,311.9	1,273.0	1,280.8	▲24.6
JPY/KRW	9.5951	9.7857	9.5313	9.6540	+0.146
KOSPI	2,350.78	2,358.76	2,311.90	2,313.69	▲46.33

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落した。FOMC以降のFRB高官によるタカ派的発言を受けドル買い地合いが継続する中、19日のドル/ウォンは1,310.5ウォンと先週末対比ドル高でオープン。20日にかけて特段の材料に乏しい中、ドル/ウォンも実需主導での方向感が出にくい相場となった。20日には日銀が10年国債金利の変動幅を±0.50%（変更前±0.25%）を柔軟化すると、円金利が急上昇し日本10年国債利回りが0.5%の上限に到達する中、円主導でのドル売りに押されドル/ウォン1,273.0まで下落。しかし、22日海外時間に発表された3Q GDP確定値（結果：前期比年率3.2%、予想：同2.9%）および個人消費（結果：前期比年率2.3%、予想：同1.7%）はいずれも良好な結果となったことで低下していた米長期金利が上昇し、ドル/ウォンも反発。23日はクリスマスを前に日中は動意に乏しい状況となり、結局、先週対比24.6ウォン下落した1,280.8ウォンにてクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは方向感に乏しい展開を予想する。週初はクリスマス期間につき市場参加者がほとんどいない中、為替取引も含め方向感に乏しい展開が予想される。週後半にかけても新しい材料がない中、実需フローを中心とした値動きに終始しよう。全体的に流動性が乏しいことが想定され、一時的に値が飛ぶ可能性には注意したいところだろう。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1270 ~ 1300	9.50 ~ 9.75	132.0 ~ 134.0

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

27日(火) 日 11月 失業率
28日(水) 日 11月 鉱工業指数 速報値
30日(金) 韓 12月 CPI